

平成28年度少年消防クラブ交流会（全国大会）の開催

地域防災室

8月3日から5日に宮城県南三陸町で「平成28年度少年消防クラブ交流会（全国大会）」を開催し、全国各地の少年消防クラブ43クラブ（クラブ員227名、指導者84名、合計311名）が参加しました。

少年消防クラブ交流会は、少年消防クラブ員が消防の実践的な活動を取り入れた訓練や避難所体験を通じて他の地域の少年消防クラブ員と親交を深めるとともに、地元消防団等から被災経験、災害教訓、災害への備えなどについて学ぶことにより、将来の地域防災の担い手育成に資することを目的として、消防庁が平成24年度から実施しているものです。

※少年消防クラブとは、防火・防災思想の普及を図ることを目的として、少年少女で結成されている組織で、平成27年5月1日現在、全国に約4千5百の少年消防クラブがあり、約42万人のクラブ員が活動しています。

交流会の1日目は、各クラブの自己紹介や郷土芸能鑑賞を行いました。普段あまり知る機会のない他のクラブの活動について、参加者は真剣に耳を傾けていました。その後、地元南三陸町の大森創作太鼓「旭ヶ浦」の方々に、和太鼓の演奏を披露していただきました。

2日目は、平成の森しおかぜ球場（南三陸町）において、ヨーロッパ青少年消防オリンピックの競技種目を参考に、ホースの搬送・展張やロープの結索などを取り入れた競技式の訓練をクラブ対抗により行いました。参加ク



合同訓練の様子（2日目）

ラブの中には、地元の消防署や消防団の方から指導を受けて練習に励んできたクラブもあり、これまでの練習の成果を発揮するよう一生懸命取り組んでいました。

その後、南三陸町内にある体育施設において、避難所体験として段ボールハウス作りを行いました。段ボールを使用してグループごとに区画を作り、床の上にマットを敷いた寝床で就寝しました。



避難所体験の様子（2日目）

その日の夕食は、南三陸町消防団及び南三陸町婦人防火クラブ連合会の方々に御協力いただき、災害時を想定した非常食（アルファ米、レトルトカレー、カップスープ）を作っていただきました。

最終日の3日目には、南三陸町消防団の方から震災時の状況や普段の消防団活動についての話をお聞きすることで、消防団について理解を深めました。また、地元の階上（はしかみ）中学校少年消防クラブのクラブ員から震災を経験しての活動内容についても報告していただきました。

今回、参加した少年消防クラブ員の皆さんには、この交流会3日間での体験を活かし、地元に戻ってから少年消防クラブ活動に更に励んでいただき、家庭や学校あるいは地域で、防火・防災の輪を広げていくリーダーとして活躍されることを期待しています。

問合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課
地域防災室 山野、荒木
TEL: 03-5253-7561